鳥取県社協だより

志あわせへ

Shi-a-wa-se-e

令和７年
７月１日発行
夏号
第251号

切り絵：市民納涼花火大会／紙原　四郎 氏（とっとりいきいきシニアバンク登録）

主な項目

P.2 ◆ 今日の眼　南部町社会福祉協議会　会長 入口　幹
新たな一歩を踏み出す「因伯ねんりんピック」
P.3 ◆ 令和７年度県民総合福祉大会
P.4～5 ◆ えんくるり事業活動報告
P.6 ◆ えんくるり事業令和６年度事業報告
P.7 ◆ 夏休み 介護のお仕事親子見学バスツアー参加者募集
介護の出前講座「知ってみよう！福祉のお仕事」
福祉の職場見学支援事業
P.8 ◆ 令和７年度介護の入門的研修
令和７年度介護専門職研修会
P.9 ◆ 次代を担う若い世代に対する保育の魅力発信
離職した介護人材等の就職準備金貸付事業の御案内
P.10 ◆ 市町村社協新任職員研修
令和７年度 社会福祉法人 会計実務研修会 中級編「第１回」のご案内
P.11 ◆ ボラバンクPR動画「ボラ活で、まちとつながる、じぶんが変わる」
令和６年度苦情受付状況について
P.12～13 ◆ 令和６年度事業報告・決算
P.14 ◆ 賛助会員募集
御寄付御礼
P.15 ◆ ボランティア活動保険
P.16 ◆ 赤い羽根共同募金

音声コード「Uni-Voice」を印字しています。
音声コードをアプリで読み込んでいただくと音声が流れます。

音声コード Uni-Voice

今日の眼

今年は、従前から問題とされていた2025年問題を迎える年となりました。国民の5人に1人が後期高齢者という超高齢社会を迎えると共に、若年層の非婚化、晩婚化による少子化の加速化などにより、雇用、医療、介護、福祉などに深刻な影響が及ぶことが避けられないと言われています。

私たちの南部町では、令和7年3月末の人口は10，025人、高齢化率は39．5％と5人に2人は高齢者という状況です。福祉の問題は、高齢者に限るものではありませんが、社会・経済状況等の変化が、地域住民の福祉問題を一層複雑化させています。

先般実施した地域福祉委員の連絡会で、あるグループの中で見守り活動を積極的にやっている地域福祉委員の方から、「近所との付き合いがあまりない人から高齢者や障害のある方など見守り対象となる人の個人情報を、対象者の同意を得ていないと思われる人から、対象者を心配する思いで福祉委員へ提供を受けたが、このような個人情報を対象者の同意を得ないままに社会福祉協議会へ知らせて良いものだろうか？近所付き合いが希薄で個人情報を提供する同意が得られるかは不明だが、情報によれば親族との関係がぎくしゃくしており、いろいろと問題を抱えているようだ」とのこと。個人情報については、法律の趣旨に沿った取扱いが求められるが、いろいろなケースで悩みの種になっている。しかし、法律の壁により、救えるはずのものが救えない、受けられるべき支援が届けられないようでは、本末転倒なような気がします。いずれにしても個人情報に関して過剰な反応とならないようにしたいものです。

南部町社会福祉協議会　会長
入口　幹

新たな一歩を踏み出す「因伯ねんりんピック」

みなさまに親しまれてきた「因伯シルバー大会」は、本年度より装い新たに「因伯ねんりんピック」としてスタートしました。これは、昨年開催された「ねんりんピックとっとり大会」のレガシーとして、より充実した内容で展開するものです。

本年度からは、新たな種目（ボウリング）も加わり、地域の高齢者の皆さまがより多くの交流や活躍の場を得られる大会へと進化しています。

4月26日（土）、平井知事の出席のもと、開会式を盛大に開催いたしました。翌27日（日）から5月24日（土）にかけて、県西部の会場を中心に、ペタンクや弓道、囲碁、将棋、健康マージャンなど、全13種目の競技が実施され、参加者の皆さんが、楽しく交流や親睦を深める貴重な機会となりました。

なお、本大会は、全国健康福祉祭（愛称：ねんりんピック）の選手選考会も兼ねており、今年度は10月18日から岐阜県で「ねんりんピック岐阜2025」が開催される予定です。

大会結果の詳細は、鳥取県社会福祉協議会ホームページでご覧になれます。

鳥取ことぶきネット　検索

※ホームページアドレス
https://www.tottori-wel.or.jp/kotobuki/

◆ 問い合わせ先　生涯現役推進室　☎0857-59-6338 ◆

音声コード Uni-Voice

令和７年度県民総合福祉大会

県民の誰もが、心豊かに安心して暮らせる福祉社会を確立するためには、県民の福祉の推進に対する理解が必要です。そこで、県民の多くが一堂に会し、地域福祉を身近な問題、自らの問題として受け止め、福祉のまちづくりに対する理解を深めます。併せて、本県の社会福祉の発展に大きく功績のあった方々を顕彰いたします。

期　日　令和７年９月11日(木)

会　場　とりぎん文化会館
鳥取市尚徳町101-5
Tel(0857)21-8700

対　象　1,000人程度

参加費　無　料

参加申込

（１）　社会福祉関係者等の参加者は管内の市町村の社会福祉協議会へお申込み下さい。
①市町村社会福祉協議会は、参加者を取りまとめて８月15日(金)までに大会事務局へ申込みをお願いします。
②参加者の旅費等はそれぞれの所属で御負担をお願いします。
③参加者の昼食はそれぞれで御用意をお願いします。

（２）　その他の参加者は自由参加といたします(当日参加、可)。

大会事務局

県民総合福祉大会実行委員会事務局
〒689-0201　鳥取市伏野1729-5
鳥取県社会福祉協議会内
Tel(0857)59-6344 Fax(0857)59-6340

内　容

【梨花ホール】

10:30～　開会式(挨拶、来賓祝辞、歓迎挨拶)
11:00～　表彰式
11:30～　活動発表「地域食堂　みんなできんさいな」
鳥取県更生保護給産会
12:00～　昼食・休憩
13:00～　アトラクション
「マンドリンコンサート」
マンドリンアンサンブル済美
13:15～　記念講演「いのちのそばで」
野の花診療所　院長　徳永　進 氏

【フリースペース】　10:00～15:00

●シニアバンクコーナー
• 帯アート展示、PR
●健康コーナー
• 健康チェック、健康相談
●福祉の店コーナー
• 作品・商品の展示即売
●福祉情報・啓発コーナー
• パネル展示、福祉情報の紹介
●老人クラブ連合会PRコーナー
• 認知症予防体験

【講演後】

講師(野の花診療所　院長　徳永　進 氏)
サイン会(書籍販売)

※会場内には託児室を設けております
※梨花ホールには手話通訳者、要約筆記者を配置しています。

記念講演　テーマ　**「いのちのそばで」**　**講　師**　野の花診療所　院 長　**徳　永　　進** 氏

77年前に鳥取県八頭郡郡家(やずぐん・こおげ)生まれ。51年前に医師に。47年前に鳥取赤十字病院の内科医。23年半働き、23年半前からホスピスケアのある19床の「野の花診療所」を始める。多くのがんの人、高齢の人、認知症の人、核家族、独居の人、などなどの波をかぶりながらアクセンクトウの日を送る。1982年「死の中の笑み」(ゆみる出版)で第4回講談社ノンフィクション賞、1992年「第１回若月賞(独自の信念で地域医療をしている人に贈られる)を受賞

※記念講演、フリースペースの催事はどなたでも参加いただけます
(入場無料、当日参加可)

えんくるり事業（生計困難者等に対する相談支援事業）活動報告

「ひきこもりの状態にある方等の就労体験事業」について

ひきこもりの状態にある方等の社会参加や就労へのきっかけとするため、県内の社会福祉法人施設・事業所等が対象となる方の状況に合わせた体験を実施しています。これは生計困難者等に対する相談支援事業「えんくるり事業」で令和5年度から取組を開始しました。

取組の目的

様々な理由によってひきこもりの状態や就労への意欲が低下している状態の方々が一人ひとりにあった就労体験を通して役割を持ち、他者と緩やかに交流することで、塞ぎこんでしまった状態から少しずつ自信や社会性を取り戻し、生活のしづらさの克服や、地域社会とのつながりづくりにつなげることを目的としています。

取組の内容

農作業や調理体験、動物との触れ合いを通して、体験者と相談員が関係を築きながら社会参加にアプローチしました。農作業では野菜を育てるために一から畑を耕し、試行錯誤を重ねながら、種まきや害虫対策も行いました。手間暇をかけて野菜を育てるなかで、野菜や畑に対して愛着が湧いてきます。野菜の様子を確認するために、家の外に出て畑に向かう回数も増えました。自然の中での体験を通して他の利用者の方や地域住民と交流を深めることができています。

調理体験では農作業での収穫物を同じ境遇のひきこもりの状態にある方、発達障がいのある方、相談員を含む職員たちがメニューごとにチームに分かれて「料理の鉄人」と称した料理対決を行いました。完成した料理を体験受入施設内の職員、隣接している行政の職員に振る舞い、そこでも他者との交流を深めました。その後、収穫した野菜を使った料理を自宅で母に振る舞い、「美味しい！」と喜んでもらえたことが体験者にとって大きな喜びとなりました。

動物を介したアプローチでは、犬と散歩をしたりおやつをあげたりして同じ時間を過ごし、犬と触れ合うなかで徐々に心を開き、犬を介して場を共有していた地域の方や他のボランティアとの距離も近くなり、交流を重ねられるようになりました。

その他、ひきこもりの状態にある方等の社会参加に向けた支援の輪を広げるためにセミナーを開催しました。「孤独・孤立を防ぐつながり～地域や社会福祉法人としてできること～」と題して、ノートルダム清心女子大学の中井俊雄准教授にご講演いただき、ひきこもりの現状や、社会課題、地域との関わりやお互いに支え合う共生社会についてお話しいただきました。

シンポジウムでは、「社会福祉法人が取り組むひきこもり支援」をテーマに、えんくるり事業の就労体験事業で実際に体験受入を行った経緯や取組み内容について2法人からご報告いただき、その後意見交換を行いました。

アンケートの結果では「地域のつながりを深めてお互いに支え手となるような地域づくりをしたい。」「実際にひきこもり支援を取り組んでみたいという気持ちになった。」等の意見が多く、ひきこもりの状態にある方等についてどのような支援や関わりができるか考える機会となりました。

音声コード Uni-Voice

受入施設法人・事業所の工夫

相談員は体験者と関わる際に、まずは自己開示、体験者の意思を否定しない、同じ時間、物事を一緒に考えながら取り組んでいくことを意識して行っています。

体験者に寄り添いながら隣でゆっくり歩むように関わり、自らの意思で体験に来てもらえるよう、支援側もゆったりとした心を持ち、相談員自身も来たいと思える場所づくりを心がけています。

就労が決定し体験終了した体験者に対して、就労先の職員に様子を聞いたり、ＬＩＮＥで連絡をとったり関わりを継続しているケースもあります。体験終了後の心身の状態が思わしくない場合、体験受入施設に招き食事をともにしたり雑談をしたりすることで、体験者が抱えた思いを打ち明けやすいよう、人とのつながりを絶やさないよう取り組んでいます。

体験の成果・体験者の声

小学校高学年からひきこもりの状態にあり、普段の生活で何もしていない無力感がある一方で、長年自分を支えてくれた母に恩返しをしたい、と考えていた方が、受入施設法人との関わりや就労体験を通して気持ちが前向きになり、「もっと楽しいことやいろんなことがしたい。」という意欲が湧いてきました。農作業や調理体験を通して、母に料理を振る舞い喜んでもらえたことも、体験者にとって自信や自己肯定感の高まりにつながりました。

中学生から不登校であった体験者は、犬を介して他者との関わりを深め、「人と関わるのは苦手だったが、知っている人たちと距離が近くなった。心を開いていけるようになった。」と嬉しそうに語られました。当初は犬と触れ合うことにも苦手意識がありましたが、スクールドッグの体験のなかで、犬が人に寄り添う優しさに触れ、次第に緊張やこわばりがほぐれ、表情や雰囲気が柔らかくなっていく様子がうかがえました。その犬を介して地域住民やボランティアと同じ時間を共有しながら少しずつ交流することで、今では初対面の人とも話せるようになったり、スクールドッグ協会の関わるＰＴＡへの説明会等、人前で犬の技を披露したりしています。体験者は少しはにかみながら、「もちろん緊張はするけど、やってみようと思えている。」と話されました。

この記事をお読みの方へ

孤独・孤立対策には、地域の人とのつながりを作ることがとても大切だと思います。本人の生活の場として、地域であなたを待ってるよ、受け止めるよ、という思いの方が増えたら嬉しいです。生活のしづらさを抱えた方が地域に目を向けた時に、受け入れてもらえるという安心感を持ってもらえるといいなと思います。

◆問い合わせ先　地域福祉部　☎0857-59-6332◆

音声コード Uni-Voice

えんくるり事業
（生計困難者等に対する相談支援事業）
令和6年度事業報告

総合相談・支援機能強化事業

●相談員　122名

●相談受付件数　1，564件
（R5：689件）

●経済的支援件数
53件1，247，232円
（R5：54件1，316，405円）

経済的支援については、件数、総額とも令和5年度と同程度となっています。生計困難に至る要因を見てみると、

●ひとり親の方が、家庭の状況により正社員になれず、安定した収入を得られない。

●家族関係の変化、悪化等により家計が安定しない。

●障がいがあり、作業所等で収入を得ているが、家族の支援が受けられなくなり、自身の収入だけでは生活ができなくなった。

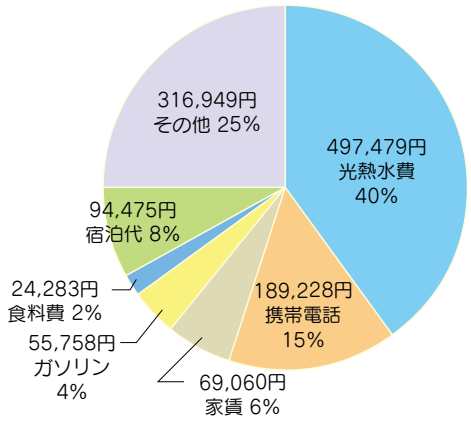
など様々であり、個別もしくは世帯での複合的な課題、困りごとを抱えながら、生計困難に至っていることがわかりました。

相談支援をしていくうえでは、こうした本人の困っている状況を踏まえながら対応していくことが求められることから、相談員に向けた研修を開催し、意識や資質の向上を図っています。

一昨年度に比べ昨年度、相談受付件数が飛躍的に増えた要因として、研修をとおして相談員や法人の意識が高まり、相談員の配置人数が増え、相談件数が増えたことが考えられます。

今後も、相談員の資質向上を図り、既存の制度の狭間にある課題への気づきを促すとともに、関係者が連携して自立に向けたきめ細かな支援を行います。

経済的支援の内訳（令和６年度）



社会資源開発事業

○子ども食堂

「おたべ食堂」

●主体法人　鳥取こども学園

●協力法人
鳥取県厚生事業団、鳥取市社協、鳥取県共同募金会、鳥取県社協

●開催日　毎月第2・4木曜日

●利用者　延べ1，532人

※弁当の配布

○子ども服リユース事業

単独開催、イベント等でのブース出展などさまざまな形態で法人が連携して取り組む子ども服のリユースを支援しています。

●協力法人
境港市社協、こうほうえん、鳥取市社協、敬仁会、倉吉愛児園、八頭町社協、岩美町社協、県社協

社会資源開発事業では、こうした法人連携をより一層進め、地域に必要とされるサービスを新たに創出し、展開される事業に対し、費用助成を行っています。

ひきこもりの状態にある方等の就労体験事業

令和5年度より、就労・社会参加に向けた支援として、社会福祉法人での体験の受入れ等を行っています。

現在受入れ施設登録は11件、累計の体験者は17名（内就職者3名、進学等による卒業4名）です。

それぞれの体験者に応じた体験を通して、家族に喜んでもらえることができるといった自信や自己肯定感の高まりにつながったり、自分の力で収入を得る喜びを感じていただいたりしています。詳しい取組みの内容についてはP4・5に掲載していますので、ご覧ください。

現在、えんくるり事業には鳥取県内47の社会福祉法人が参画していますが、さらに支援の輪を広げていくためにも多くの社会福祉法人に参画をお願いいたします。

令和６年度えんくるり事業決算書

【収入】　（単位：円）

科　目	決算額	決算内訳
分担金収入	2,575,000	参加法人からの分担金
受託金	1,099,722	内閣府孤独・孤立対策に関するモデル調査委託金
雑収入	100,000	寄付金
収入合計	3,774,722	

【支出】　（単位：円）

科　目	決算額	決算内訳
事務費	1,166,239	運営委員会、研修、広報等経費
支援事業費	2,537,732	経済的支援、就労体験事業経費
支出合計	3,703,971	

令和6年度収支差額　＋　前年度繰越　＝　次年度繰越
70,751 円　　3,279,320 円　　3,350,071 円

◆問い合わせ先　地域福祉部　☎0857-59-6332◆

音声コード Uni-Voice

参加費無料！

自由研究応援イベント

介護のお仕事を学びながら親子で楽しい夏の思い出を作りませんか？

夏休み 介護のお仕事親子見学バスツアー参加者募集

体験型のプログラムで介護のお仕事を楽しく学べるツアーを実施します。
福祉施設を見学後、福祉の養成校で学んだことや発見を自由研究にまとめます！

○**対　象**　小学生（４・５・６年生）及びその保護者

東　部　**令和７年７月27日（日）　9:30～16:30**
- 施　設　鳥取県厚生事業団　ふしの白寿苑
- 養成校　鳥取社会福祉専門学校

中　部　**令和７年７月26日（土）　9:30～16:30**
- 施　設　鳥取県厚生事業団　湯梨浜はごろも苑
- 養成校　鳥取社会福祉専門学校

西　部　**令和７年８月２日（土）・９日（土）　9:30～16:30**　※募集は締切りました。
- 施　設　伯耆の国　特別養護老人ホームゆうらく
- 養成校　ＹＭＣＡ米子医療福祉専門学校

○**申込方法**　右記の二次元コードより、申込フォームに入力して申し込んでください。

申込みフォーム

○**申込期限**　**令和７年７月７日（月）必着**

※ただし、各コースとも定員になり次第、受付を締め切りますので、御了承ください。
※災害・感染症の流行等により、見学内容を変更・中止する場合があります。

◆ 申込及び問い合わせ先　福祉人材部　☎0857-59-6336　FAX0857-59-6341 ◆

申込受付中!

介護の出前講座「知ってみよう!福祉のお仕事」

介護の仕事を身近に感じながら、興味・関心をもってもらうため、現場で働いている専門職を講師やゲストティーチャーとして派遣し、仕事の魅力などを伝える出前講座を実施しています。
日時や内容もご希望に応じて対応いたします。お気軽にご相談ください。

対　象　中学校、高校、一般県民（PTA等）

申込方法　本会ホームページから申込書をダウンロードし、ご記入の上、FAX、郵送にてお申込みください。

受付期間　希望開催時期の２ヵ月前まで

申込受付中!

福祉の職場見学支援事業

学生や一般県民等を対象に、実際に福祉施設等の見学実施や、現場で働く職員からの仕事内容ややりがいなどのお話を聞き、見学者自身が福祉分野への進学や就職を検討する上での参考としていただくことを目的として開催しています。

主な見学先　高齢者福祉施設、障がい者福祉施設、児童福祉施設、社会福祉協議会等

対　象　高校生（保護者や進路指導担当者の方も可）、大学・短大・専門学校・専修学校等の学生、福祉職場への関心のある一般県民の方

スケジュール

集合→移動→施設見学（１時間程度を希望より１ヶ所～２ヶ所）→移動→解散
※現地集合現地解散
※高校生は、集合場所（学校、駅等）からの送迎が必要な場合はご相談ください。

申込方法

【高校生】
学校を通じて鳥取県社会福祉協議会までお申し込みください。
【高校生を除く学生または一般県民】
直接鳥取県社会福祉協議会までお申込みください。

◆ 申込及び問い合わせ先　福祉人材部　☎0857-59-6336　FAX0857-59-6341 ◆

受講生募集中！

令和７年度介護の入門的研修

受講料無料！

介護に関心がある方を対象に、介護に必要な知識や技術を学んでいただくための研修です。経験がない方にも、介護の基礎を講師がわかりやすくお伝えします。

介護する人・される人が、お互いを支え合いながら安心して生活するにはどうしたら良いかなどを、考えるきっかけをつくってみませんか。

●**対 象 者**　◉介護や介護の仕事に関心がある方
◉これから介護の職場に就職を希望される方
◉介護助手（介護補助等）として就業されている方
※家庭介護に関心のある地域住民の方、学生の方　など

本会ホームページ

●**開 催 日**　（各会場５日間）

東　　部 （県立福祉人材研修センター）	9/4(木)、9/12(金)、9/18(木)、 9/19(金)、9/25(木)
中　　部 （エースパック未来中心、上灘コミュニティセンター）	7/12(土)、7/19(土)、7/26(土)、 7/27(日)、8/2(土)
西　　部 （米子コンベンションセンター、米子市文化ホール）	8/4(月)、8/12(火)、8/20(水)、 8/21(木)、8/26(火)

●**定　　員**　各会場　30名

●**申込締切**　開催初日の10日前までにお申込みください（定員になり次第締め切ります）

※地震や台風、感染症などやむを得ない事情により研修会を延期・中止せざるを得ない場合があります。本会ホームページ等でご確認ください。

日程・申込方法等研修の詳細については、本会ホームページをご覧ください。

◆問い合わせ先　福祉人材部　☎0857-59-6336◆

令和７年度介護専門職研修会

今年度は新たに「生産性向上で変える介護の現場」「介護現場における意思決定支援」の内容を追加しました。このほか、介護の知識や技術を高めるための介護講座を年間を通じて開催します。開催スケジュールや各講座の詳細はホームページをご覧ください。

●**参加対象**　医療、福祉、保健の分野に勤務する専門職及び福祉系有資格者等

●**定　　員**　【オンライン研修】各100名
【集　合　研　修】各30～50名程度

●**研修内容**　９月、10月開催分
【オンライン研修】感染防止対策
【集　合　研　修】排泄、褥瘡、高齢者と楽しむレクリエーション、生産性向上で変える介護の現場、介護現場における意思決定支援、移乗、ポジショニング、指導者育成研修

●**参加申込方法**　事前の申込みが必要です。日程、申込方法等研修の詳細は本会ホームページをご確認ください。

研修ご案内

◆問い合わせ先　福祉人材部　☎0857-59-6336◆

音声コード Uni-Voice

保育士に関心がある、保育士を目指している学生の方々を全力で応援します！

次代を担う若い世代に対する保育の魅力発信

鳥取県保育士・保育所支援センターは、県内の保育士確保・定着を目的とし、学生や一般の方の就職支援をはじめ、保育者の職場定着に向けた支援や保育に関わる情報発信など様々な活動を行っています。

中・高校生を対象に保育の魅力や仕事のやりがいについて理解を深めてもらい、若い世代にとって大切な将来の職業選択につながるようにと以下の２事業を実施しています。

保育の出前説明会

保育現場で働く若手保育士等が身近な先輩として学校等を訪問し、中・高校生に「保育の様子」や「仕事のやりがい」、さらに地元鳥取で働くことの「魅力や大切さ」などについて自らの言葉で直接語りかけます。

■実施期間　令和７年７月１日（火）～令和８年２月27日（金）

保育のおしごと体験

県内の中・高校生を対象に、保育所・認定こども園で遊びを通して園児と一緒に過ごすとともに、園の保育者から役割や保育のやりがい等についてのお話を聞くことで、保育の魅力についての理解を深めてもらいます。

■開催日時　令和７年７月29日（火）、31日（木）、８月５日（火）、７日（木）、11月４日（火）、21日（金）の午前９時50分から午後２時まで

●**お問い合わせ**

鳥取県保育士・保育所支援センター
〒689-0201 鳥取市伏野1729-5
TEL（0857）59-6342
利用時間／平日8:30～17:00

詳細は、ホームページ・フェイスブック等で御確認ください。

ホームページ　フェイスブック

離職した介護人材等の就職準備金貸付事業の御案内

いずれの資金も条件を満たした場合、貸付金の返還免除を受けられます。
なお、返還免除を受けるには免除要件を満たした上で免除申請書類の提出が必要です。
また、いずれの資金も資力のある連帯保証人を1名立てる必要があります。
制度利用に関する詳細については、本ページ下部の問合せ先へご照会ください。

（１）離職した介護人材の再就職準備金貸付事業

介護職員を退職後1年以上経過している潜在化した介護人材（介護福祉士資格、介護職員初任者研修修了等一定の知識・経験を持つ方）が、鳥取県内の事業所で介護職員等として再就職する場合、就職時に必要な費用を貸付することで、再就職をサポートします。

●貸付金額　40万円以内（１人１回限り）
【使途例】　介護職員として働く際に必要となる靴・被服・道具・鞄、就職に伴う転居費用、通勤用自転車・バイク購入費、等

（２）介護分野就職支援金貸付事業 及び 障害福祉分野就職支援金貸付事業

他業種を退職し、鳥取県内の事業所で介護分野又は障害福祉分野に就職が決まった、介護職員従事経験の無い新たな介護人材（介護職員初任者研修修了等一定の技能を習得した方）に就職時に必要な費用を貸付することで、転職をサポートします。

なお、就職する施設の種別（介護分野又は障害福祉分野の別）により、利用する事業が異なります。

●貸付金額　20万円以内（１人１回限り）
【使途例】介護職員として働く際に必要となる靴・被服・道具・鞄、就職に伴う転居費用、通勤用自転車・バイク購入費、等

◆問い合わせ先　福祉人材部　☎0857-59-6336◆

これから社協の仲間としてつながろう！～市町村社協新任職員研修～

今年度は、グループワークを交えながら、社協職員として必要な知識やスキルを身につけつつ、仲間づくりも意識しながら具体的な社協の取組みをイメージしていただく内容としました。

1日目の講師には龍谷大学特任教授で元滋賀県大津市社協事務局次長の山口浩次さんをお招きしました。

山口さんは、社協には協議体・運動体・事業体としての機能があるとし、「行政からの委託事業が増え事業体として意識されがちだが、〝住民の方から雇われている〟ことを念頭に置き、3つの機能を意識して取り組む必要がある」と話されました。

また、社協がチームとして機能してくために必要となる心理的安全性の考え方や自分の強みを知ること、地域の方と関わるうえで必要となる傾聴のスキルなどについて、グループワークを交えながらお話があり、参加者にとって学びを深めつつ、仲間づくりの機会ともなりました。

さらに、目的と目標について触れられ、「社協として〝住民のみなさんのちょっとした幸せを助ける〟という目的をしっかり意識して、人とつながる楽しさを感じながら取り組んでもらいたい」とエールを送られ、最後に参加者それぞれが漢字一文字で将来のなりたい自分を表し、具体的な自分の姿をイメージする機会となりました。

2日目は、社協での具体的な取組みについて2社協から報告をいただきました。

江府町社協の橋谷久美さんからは、臨床美術を取り入れた取組みを紹介いただきました。参加者が実際に臨床美術を体験し、思い思いの絵を描き互いの作品のいいところを見つけてほめ合うことで、自己肯定感につながったようです。

また、米子市社協の生田汐さんからは、地域の方の思いを丁寧に把握し、それを一緒になって子ども服リユースなど具体的な取組みとして形にしていく活動などを報告いただきました。

今回の研修をとおして、共通していたのが「人とのつながりの大切さ」であったと思います。アンケートには「ほめられ嬉しかった。自己肯定感が高まった」との声があり、今回できた社協仲間とのつながりを、今後も続けられるよう、節目ごとに集まる機会を作っていきたいと思います。

参加者のみなさんの〝ちょっとした幸せ〟をホワイトボードに貼りだしました

◆問い合わせ先　地域福祉部　☎0857-59-6332◆

令和７年度 社会福祉法人 会計実務研修会 中級編「第１回」のご案内

社会福祉法人の会計は、一般法人の行う会計処理とは異なることから、社会福祉法人会計簿記テキスト中級編（会計２級）を用いて、実務担当者の日常業務に沿い、仕訳から決算書作成までを、練習問題を交えながら分かりやすく解説します。

日　時　令和７年７月24日(木)　10:00～15:30

参加対象　社会福祉法人の会計事務を担当し、社会福祉法人会計基準の基礎的な内容を理解している中堅職員等

会　場　はごろもホール(湯梨浜町)オンライン参加も可能(Web会議用ソフト Zoom)

講　師　池原公認会計士事務所　公認会計士　池原　浩一 氏　（本会経営指導員）

定　員　40名(会場受講者)　　**参 加 費**　2,000円／人

申込期限　令和７年７月17日(木)

内　容
- 社会福祉法人会計基準
- 社会福祉法人の計算書類
- 附属明細書と財産目録
- 支払資金と流動資産・流動負債
- 資産の会計処理
- 負債の会計処理　等（予定）

テキスト　七訂版「社会福祉法人会計簿記テキスト 中級編《会計２級》(実務出版(株)定価3,000円＋税)を使用します。
当日までに各自でご購入ください。

第２回は８月７日(木)に開催予定です。

◆問い合わせ先　福祉振興部　☎0857-59-6344◆

音声コード Uni-Voice

ボラ活で、まちとつながる、じぶんが変わる

鳥取県ボランティア・市民活動センターでは、ボランティア活動をしたい個人・団体、ボランティアを募集したい団体が登録する「とっとりボランティアバンク」を運営しています。
現在鳥取県社会福祉協議会のYoutubeチャンネルで絶賛公開中です。
ぜひご覧になってください。

日本遺産でボラ活やってみた三徳山編
https://youtu.be/MgyaXicFsNE

地域とつながるボラ活マルシェ編
https://youtu.be/dIHq-tTxwN4

教えてはーちゃん！ボランティア活動のあれこれ
https://youtu.be/4cFMOnXV7ww

とっとりボランティアバンクに登録しよう
https://youtu.be/pbp4MceLnas

◆問い合わせ先　福祉振興部　☎0857-59-6344◆

令和6年度

苦情受付状況について

福祉サービス運営適正化委員会

委員会が令和6年度に受け付けた福祉サービスに関する苦情・相談件数は52件で、前年度の65件から13件減少しました。苦情・相談のうち、49件は電話によるもので、来所によるものが2件、郵便によるものが1件でした。また、このうち苦情受付件数は、委員会制度が創設された平成12年度から増加傾向にあり、近年は50件前後で推移していましたが、6年度は30件でした。

受け付けた苦情は、サービス分野では障がい者が最も多く、次いで高齢者、児童の順となっています。申出人の属性は、利用者ご本人が最も多く、次いでご家族、職員、その他の順となっています。内容については、職員の接遇、サービスの質や量、説明・情報提供に関するものが多く、次いで利用料、被害・損害、その他となっています。

具体的な内容は、事業所側の説明不足や職員の対応・言葉遣いに起因する不満やトラブル、就労支援内容に対する不満、あるいは施設運営の指導を求めるものなど多岐にわたっています。

本委員会では、福祉サービス利用者等の申出を受け、必要な助言、調査などを行い、双方の話し合いによる解決の促進に努めています。

苦情解決による福祉サービスの質の向上に向け、皆様のさらなるご理解とご協力をお願いします。

［施設の種別と申出人の属性］

施設種別＼申出人	利用者		家　族		代理人		職　員		その他		合　計		
	苦情	相談	苦情	相談	苦情	相談	苦情	相談	苦情	相談	苦情	相談	計
高齢者	3	1	6	3			1	3		2	10	9	19
障がい者	15	3	3	1					1		19	4	23
児　童			1	2				1			1	3	4
その他		2						1		3		6	6
R6年度計	18	6	10	6	0	0	1	5	1	5	30	22	52
R5年度計	27	2	15	2	0	0	4	8	4	3	50	15	65

［苦情の内容区分］

区　分	R6	R5
職員の接遇	7	10
サービスの質や量	11	17
説明・情報提供	6	4
利用料	2	2
被害・損害	1	7
権利侵害		6
その他	3	4
計	30	50

◆問い合わせ先　福祉サービス運営適正化委員会　☎0857-59-6335◆

パソコン修理～　介護ソフト～　伝送設定～
OA機器　リース　メンテナンス
有限会社　松本事務機
鳥取市千代水2丁目117番地　☎0857-31-6661
http://values.main.jp　FAX 0857-31-6662

音声コード Uni-Voice

令和6年度 事業報告

基本方針

鳥取県社会福祉協議会では、令和6年度から5年間の中期計画（ほっとプラン2024）を推進しています。

地域共生社会の実現に向け、7つの重点目標を柱とした事業実施に努め、社会福祉関係者・関係機関・団体等との連携強化を図りました。

「ねんりんピックはばたけ鳥取2024」大会では、県と連携し、大会広報、競技団体への支援及び「ねんりんピック鳥取大会ボランティアセンター」の円滑な運営、さらには「地域文化伝承館」の開催支援等に取り組み、大会を大いに盛り上げました。

重点目標① 住民の主体的参加による地域福祉の推進

●地域におけるネットワークの形成
●市町村社協の活動支援
●市町村における包括的支援体制の基盤整備支援
●みんなでつくる地域の生活支援体制整備の推進
●高齢者の生きがいと健康づくり事業の推進・「ねんりんピック鳥取ボランティアセンター」の運営
●とっとりいきいきシニアバンク事業の推進
●民生委員・児童委員活動の推進支援

支え合いの基盤となる住民意識の醸成と、支援を必要とする人を早期に発見し住民同士が支え合う仕組みづくりを進めました。

市町村社協が地域福祉の推進主体として活動するとともに、安定した法人の運営基盤を築くために、研修等による市町村社協の職員育成や、市町村社協担当制を通じた事業・経営相談・情報提供等、総合的な活動の支援に取り組みました。

「ねんりんピックボランティアセンター」において、全国の選手を、おもてなしの心でお迎えし大会を盛り上げるとともに、鳥取県老人クラブ連合会が主管する「地域文化伝承館」開催準備の支援を行いました。

重点目標② セーフティネット機能の充実・強化

●生活困窮者の自立に向けた支援体制の充実・強化
●生活福祉資金借受世帯の自立更生に向けた相談支援機能の強化
●地域における総合的な権利擁護体制の構築
●ひとり親家庭高等就業訓練促進資金貸付事業の実施
●児童養護施設退所者等に対する自立支援資金貸付事業の実施
●苦情解決事業の実施（福祉サービス運営適正化委員会）

生活困窮者自立支援機関の相談員研修を複数のテーマで実施し、相談支援員の資質向上を図りました。

生活福祉資金貸付事業において、貸付による当面の金銭的課題解決のみでなく、貸付後の継続的な相談支援等を通じ、借受世帯の自立更生促進に向け取り組みました。

福祉サービス利用援助事業が適正に運営されているか現地調査等を行い監視するとともに、福祉サービスに関する利用者等からの苦情処理及び事業者に対する苦情解決に資する研修を実施しました。

重点目標③ 福祉人材の確保・育成・定着

●福祉職場の啓発・魅力発信と人材確保、定着の支援
●福祉従事者の資質・能力の向上
●福祉研究による資質・能力の向上

介護と保育の就職支援コーディネーター、保育士キャリアアドバイザーによる潜在有資格者の掘り起こしや施設見学の同行支援等、きめ細やかなマッチング、オンラインを組み合わせた就職フェア等の取り組みを進めました。

保育人材確保の取り組みとして保育士養成施設や関係団体をはじめとする産官学の連携により新たなイベントを企画・実施し、学生にとって保育分野で働くイメージの醸成に寄与しました。

鳥取県福祉研究学会研究発表会を開催しました。

重点目標④ 福祉学習・ボランティア活動の推進

●地域に根ざした福祉学習の展開
●ボランティア・市民活動の推進と支援体制の強化
●山陰発 あいサポート運動推進・連携事業
●障がい者の福祉に関する事業の推進
●児童・家庭の福祉に関する事業の推進
●福祉意識の啓発

地域で取り組む福祉教育・ボランティア活動推進事業、高校における福祉教育事業に取り組みました。

ボランティアバンクでは、ボランティア募集・登録・活動調整を行いました。

障がい福祉の理解促進を図るため、あいサポート運動の推進や障がい者団体へ事業費助成等を実施しました。

鳥取県障害者社会参加推進協議会、鳥取県障がい者差別解消支援地域協議会へ参画し、障がい者団体への事業費助成等を行いました。ひとり親家庭や低所得世帯を対象とした大学及び高校進学支援金や交通遺児への激励金の支給を行いました。

地域福祉県民講座『緑陰大学』、県民総合福祉大会を開催しました。

重点目標⑤ 災害時福祉支援活動の推進

全市町村を訪問し、災害ケースマネジメントの実施体制づくりを支援しました。また、様々な学校での防

音声コード Uni-Voice

災福祉教育や自治会等での地域防災活動支援により、災害時の行動やまちづくりの啓発を行いました。
鳥取県ＤＷＡＴチーム員は２３１名まで増加しました。また、能登半島地震での経験を今後に活かすため、振り返り会等を開催しました。
災害ボランティアセンター強化に向け、マネジメント研修を県内では初めて実施しました。

重点目標⑥ 社会福祉法人等への経営支援と福祉団体の活動支援

●福祉施設経営指導事業の推進
●社会福祉・保健サービス評価事業の支援
●社会福祉関係団体の支援
●民間社会福祉施設職員共済事業の実施
●福利厚生事業（福利厚生センター受託事業）の推進
●社会福祉法人の地域貢献実施支援

社会福祉施設の適正かつ安定的な経営と、利用者処遇の向上等をめざして各法人・施設の行う運営の取組みに対し、専門相談・一般相談、法人巡回訪問の対応と集団指導を行いました。
事務局を受託する県域の福祉団体の活動を支援し、引き続き県への合同要望活動等を行いました。
社会福祉法人の県民への認知度を高めるため、各法人の取組みを本会のホームページや広報誌に特集記事として継続して掲載し、住民や関係者等に広く周知しました

重点目標⑦ 地域福祉推進のための組織基盤の強化

●求められる職員像の実現と職員育成の強化
●課題解決に向けた組織体制の整備と働きやすい環境づくり
●県とのパートナーシップの強化と公的財源の確保
●会員加入の促進と安定的な自主財源の確保
●基金の活用と資産の適正かつ効率的な運用

県社協の使命実現と職員の意識改革及び目標達成に向けた人事考課を行いました。また、社会福祉主事任用資格等の資格取得に対して助成するなど、職員の資質向上を図りました。
県民の福祉への関心と県社協の活動への理解と支援を広げるべく、広報誌「志あわせへ」やホームページ等による情報発信に努めました。
企業・団体や個人からの寄付金を寄付者の趣意に沿った基金に受入れ、金融情勢等の動向を把握しながら、安全かつ確実で効果的な金融商品による運用を行いました。

令和６年度　事業活動計算書

令和７年３月31日

◎ 一般会計

（単位：円）

拠点区分	決算額						
	収　益 (1)	費　用 (2)	前期繰越活動増減差額(3)	当期末繰越活動増減差額 (4)＝(1)＋(3)－(2)	その他積立金取崩額 (5)	その他積立金積立額 (6)	次期繰越活動増減差額 (7)＝(4)＋(5)－(6)
社会福祉事業	545,307,894	772,519,914	14,342,025	△ 212,869,995	222,347,656	11,762,296	△ 2,284,635
公益事業	215,233,961	215,573,393	△ 900,925	△ 1,240,357	0	0	△ 1,240,357
収益事業	3,734,077	3,734,077	0	0	0	0	0
一般会計　合計（A）	764,275,932	991,827,384	13,441,100	△ 214,110,352	222,347,656	11,762,296	△ 3,524,992

◎ 生活福祉資金関連事業会計

（単位：円）

会計名	決算額						
	収　益 (1)	費　用 (2)	前期繰越活動増減差額(3)	当期末繰越活動増減差額 (4)＝(1)＋(3)－(2)	その他積立金取崩額 (5)	その他積立金積立額 (6)	次期繰越活動増減差額 (7)＝(4)＋(5)－(6)
生活福祉資金会計	194,298,836	822,031,215	△ 49,130,919	△ 676,863,298	650,587,200	7,794,545	△ 34,070,643
要保護世帯向け不動産担保型生活資金会計	3,174	0	0	3,174	0	0	3,174
生活福祉資金貸付事務費会計	31,894,148	166,033,308	0	△ 134,139,160	137,124,682	2,985,522	0
臨時特例つなぎ資金会計	4,679	726,183	0	△ 721,504	721,504	0	0
生活福祉資金事業関連会計合計 (B)	226,200,837	988,790,706	△ 49,130,919	△ 811,720,788	788,433,386	10,780,067	△ 34,067,469
総合計（A）＋（B）	990,476,769	1,980,618,090	△ 35,689,819	△ 1,025,831,140	1,010,781,042	22,542,363	△ 37,592,461

令和６年度　貸借対照表（総合）

（単位：円）

資産の部		負債の部	
区　分	金　額	区　分	金　額
流動資産	1,480,010,959	流動負債	255,355,684
固定資産	5,813,386,929	固定負債	200,021,518
		基　金	699,759,382
		積立金	6,175,853,765
		次期繰越活動増減差額	△ 37,592,461
資産の部　合計	7,293,397,888	負債の部　合計	7,293,397,888

◆問い合わせ先　総務部　☎0857-59-6331◆

音声コード Uni-Voice

賛助会員を募集しています

本会では、地域福祉の推進とみんなでつくる福祉社会の実現に向けて、
“県民参画による福祉のまちづくり”“安心して暮らせる仕組みづくり”“福祉を担う人づくり”
を中心に地域の様々な機関・団体と連携して、安心して暮らせる地域社会をめざしています。
賛助会員の皆様のご協力をいただき、県内の地域福祉をより一層充実していきたいと考えています。
本会の趣旨にご賛同いただき、会員としてご支援、ご協力をくださいますようお願い申しあげます。

会　費（毎年度）　団　体　一口：10,000円　　個　人　一口：　3,000円

【賛助会員になるには】

入会を希望される方は、鳥取県社会福祉協議会ホームページより加入申込書をダウンロードしてください。
必要事項を記入の上、本会まで郵送してください。入会申込書受理後、会費納入のご案内をお送りします。

◆申込書送付先◆　〒689-0201　鳥取県鳥取市伏野1729-5　鳥取県社会福祉協議会　総務部

新規会員様ご紹介（令和７年５月31日現在、順不同）　ご入会いただきありがとうございました。

有限会社　大和 様・学校法人小林学園　鳥取社会福祉専門学校 様・株式会社ポチっとメンテナンス　様

◆問い合わせ先　総務部　☎0857-59-6331◆

御寄付御礼

御寄付を賜り誠にありがとうございました。
御意志に従い活用させていただきます。(順不同)

〔地域福祉振興基金〕への御寄付（生活困窮者に対する支援など、地域福祉の推進を支援しています。）
- ごうぎんリース株式会社　代表取締役　杉原 伸治　様

〔栗山教育福祉基金〕への御寄付（県内の生活困窮世帯の高校入学者へ援助金を支給します。）
- 有限会社仁徳砂利　代表取締役　岡村 文美子　様

〔ＤＶ被害者支援基金〕への御寄付
- 国際ソロプチミスト米子　会長　西村 頼枝　様

〔交通遺児福祉資金〕への御寄付（県内の交通遺児へ激励金を支給します。）
- 鳥取県中古自動車販売協会　会長　寺谷 泰輔　様
- 日ノ丸エネオス給油所部会　会長　中村 徹雄　様
- 株式会社アミパラ　アミパラ鳥取店　様、アミパラ日吉津店　様、アミパラがいな店　様

◆問い合わせ先　総務部　☎0857-59-6331◆

MORRIX JAPAN Corp.

MORRIX

私たちは人にやさしい快適環境を創造し、
未来をデザインするヒューマン企業です。

介護・自立支援・栄養管理・勤怠・給与・会計・セキュリティシステムから
介護用品まで介護現場をトータルでサポート致します。
お客様の環境と問題点をお聞きし、事務の効率化、介護現場の効率化を共に
考え最適なシステムをご紹介いたします。

■当社の取扱い介護・自立支援・栄養管理システムメーカー

ND ソフトウエアー株式会社（ほのぼの NEXT）
株式会社　ワイズマン
株式会社　東経システム（福祉見聞録）
株式会社　日立システムズ（福祉の森）
株式会社　コーエイコンピュータシステム（EIBUN）

モリックスジャパン

株式会社　モリックスジャパン

本　社　〒680-0912 鳥取県鳥取市商栄町 203-6
TEL 0857-23-3641　FAX 0857-22-3329

倉吉店　〒682-0812 鳥取県倉吉市幸町 529
ユーミーレジデンス 1-3 号
TEL 0858-24-5451　FAX 0858-24-5452

令和７年度

https://www.fukushihoken.co.jp
ふくしの保険　検索

日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償

ボランティア活動保険

保険金額・年間保険料（1名あたり）　団体割引20%適用済／過去の損害率による割増適用

保険金の種類＼プラン			基本プラン	天災・地震補償プラン
ケガの補償	死亡保険金		1,040万円	
	後遺障害保険金		1,040万円（限度額）	
	入院保険金日額		6,500円	
	手術保険金	入院中の手術	65,000円	
		外来の手術	32,500円	
	通院保険金日額		4,000円	
	地震・噴火・津波による死傷		×	○
賠償責任の補償	賠償責任保険金（対人・対物共通）		5億円（限度額）	
年間保険料			350円	500円

商品パンフレットはコチラから

（ふくしの保険ホームページ）

＜重 要＞

- 基本プランでは地震・噴火・津波に起因する死傷は補償されません。
- 年度途中でご加入される場合も上記の保険料となります。
- 中途脱退による保険料の返金はありません。
- 中途でボランティアの入替や、ご加入プランの変更はできません。
- ご加入は、お１人につきいずれかのプラン１口のみとなります。

ボランティア行事用保険（傷害保険、国内旅行傷害保険特約付傷害保険、賠償責任保険）

送迎サービス補償（傷害保険）

福祉サービス総合補償（傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険（オプション））

● このご案内は概要を説明したものです。詳細は、「ボランティア活動保険パンフレット」にてご確認ください。●

団体契約者　社会福祉法人 全国社会福祉協議会

〈引受幹事保険会社〉
損害保険ジャパン株式会社 医療・福祉開発部 第二課
TEL：03（3349）5137
受付時間：平日の9:00～17:00（土日・祝日、年末年始を除きます。）
この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。

取扱代理店　株式会社 福祉保険サービス

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
TEL：03（3581）4667
受付時間：平日の 9:30～17:30（土日・祝日、年末年始を除きます。）

〈SJ24-10057 より抜粋〉

音声コード Uni-Voice

発行所／社会福祉法人 鳥取県社会福祉協議会 〒689-0201 鳥取市伏野1729-5
令和７年7月１日発行 TEL.0857-59-6331 FAX.0857-59-6340(代) https://www.tottori-wel.or.jp

社会福祉法人 鳥取県共同募金会

じぶんの町を良くするしくみ。

赤い羽根共同募金

令和６年度共同募金結果報告

昨年度は、皆様の温かいご支援をいただきありがとうございました。お寄せいただきました寄付金は、令和７年度に県内の社会福祉施設や小規模作業所、ボランティア団体・NPO法人等が実施する地域福祉活動等の事業に活用されます。

詳細な助成内容等は本会ホームページに掲載していますのでご覧ください。

https://akaihane-tottori.or.jp

●令和６年度実績・助成額

募金	
目標額	115,000,000円
実績額	128,605,257円
達成率	111.8%
使いみち	
助成額	107,126,659円
運動経費	21,478,598円
計	128,605,257円

令和７年度も皆様の温かい御支援と御協力をお願いいたします！

ありがとうメッセージ

鳥取県肢体不自由児者父母の会連合会

「つながり・結ぶ・レクリエーション事業」として、フルートとピアノの演奏会を開催しました。同じフロアでの演奏を体感でき五感が刺激され、楽しいひと時を過ごすことができました。会場が一つになって盛り上がり、子どもたちも笑顔があふれていました。会員参加者に有意義な時間を提供できたことに感謝します。ありがとうございました。

(R6.12.14開催)

公益社団法人 鳥取県老人クラブ連合会

「男女共同参画推進事業」として、年齢や性別等にかかわらず、生き生きと安心して暮らせる社会をめざす研修会を開催しました。eスポーツによるボウリング大会とし、初めて体験する方がほとんどでしたが、グループで教え合い、助け合いながら取り組みました。

今年の研修会は、女性委員と若手委員が一緒に企画・運営し、男女共同参画を実践することもできました。ありがとうございました。

(R6.11.27開催)

音声コード Uni-Voice